

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームまほろば

(ユニット名)

2階ユニット

記入者(管理者)

氏名

副ホーム長 土居 里美
介護職員 浅井 ナミ子・井上 いづみ

評価完了日

平成 19 年 10 月 1 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			住みなれた地域での生活支援を頭に置き職員全体で確認し、理念を掲げている。		
			(外部評価)		
			事業所では、理念として、ケアや環境作り、関係作り等について、7項目の運営方針を揚げ取り組んでおられる。	※	さらに「地域密着型サービス」事業所として、地域の中でどのようなことに取り組んでいくかということについても、この機会に話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			朝礼時や申し送り、カンファレンス時、その都度、管理者は、理念に基づいて話をしている。		
			(外部評価)		
			玄関、各ユニットに「7項目の運営方針」が掲示されている。又、職員は、方針が書かれた小さなカードを携帯し、日常的に確認されている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ご家族の訪問時や推進委員会等折に触れ伝えている。また介護教室等地域に出向いてホームの理念を伝えている。	※	地域住民の方にもっと理解して頂けるよう今後、地域の行事等への積極的な参加を考えている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 管理者、職員共に地元出身者が多く、散歩時も近所の方々と立ち話をしたり、気軽に来訪頂き楽しく、お付き合いをしている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ホームの文化祭に招待したり、地区主催のふれあい広場に参加、町内の一員としての回覧板もまわり地区との交流に努めている。 (外部評価) 近所の方が回覧板を届けてくれる際、利用者とお話をされることもある。手芸、こけ玉などのボランティアの来訪や高校生の職場体験も受け入れておられる。町民運動会に参加し、利用者も宝探しの競技に参加された。	※	年2回程度町内のフリーマーケットにも参加している。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 認知症介護教室等で地域に出向いて認知症の理解や接し方の勉強会を実施している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の結果等全員で検討し合いサービスの質の向上に努めている。 (外部評価) 全職員で自己評価に取り組み、各ユニットごとにまとめられた。前回の評価結果を受け、各居室は、ご家族の協力を得てご本人の馴染みのものが増えてきている。お月見会の後、家族会を開催し、ご家族の意見や要望を出していただいたり、介護計画に対してのご家族の意向をうかがえるよう取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			委員からの質問や意見、要望等職員全員が受け止め、 話し合いを持っている。	※	運営推進会議委員の助言を頂き、地区行事の参加、回 覧板の回覧が実現した。
			(外部評価)		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	会議時の話し合いで回覧板を回していただけるようにな った。又、畑を借りることや地区の行事の情報等も 得られ、地区行事への参加等、利用者の生活の拡充に つながっている。		
			(自己評価)		
			西予市と常に連携をとり相談もしている、認知症介護 教室、I A D L 訓練事業等の委託も受け実施、西予市 と共にサービスの質の向上に努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(外部評価)		
			市より委託を受け、IADL訓練事業や2ヶ月に1回、認 知症介護教室を開催されており、寸劇を交え地域の方 達にも認知症の理解を拡げておられる。介護相談員を 受け入れておられる。		
			研修会等に参加して理解している。必要な方には活用 出来るように支援していきたいと考えている。	※	開設以来該当者はいないが、必要者が出た時は、すぐ に対応出来るよう努めている。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			全ての職員が正しく認識しており、虐待のない介護を 実践している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)		
			契約時、約款等運営方針に関する事を十分に説明して、また、家族の意見も十分聴き、利用者、家族の納得のうえ同意を頂いている。解約においても同じ。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			日常の会話、関わりの中から入居者の不満、苦情等を見だし、ささいな事でも日々の申し送り、職員会議等で話し合いをして運営に反映させている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価)		
			受診結果や、体調の変化など、その都度電話で様子を知らせており、2ヶ月毎に担当スタッフより便りを出している。		
			(外部評価)		
			定期的に、まほろば通信を発行され、毎月、利用者の暮らしぶりを手紙や写真で報告されている。利用者の誕生日にはお誕生日新聞を家族に送り、写真も同封され喜ばれている。病院受診時には、毎回電話で報告されている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			苦情箱の設置も実施しており、ご家族との会話などから言いやすい雰囲気づくりに留意している。	※	なるべく、ご家族との会話を持てるよう、その機会を多く持っていきたい。
			(外部評価)		
			家族会を開催され、ご家族の希望や要望を聞いておられる。又、ご家族の来訪時等にもうかがい、ケアへの要望等をいただいている。	※	今後、さらに、ご家族から意見を出していただけるよう、雰囲気作りや声掛け、お手紙等で働きかけていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			年2回の職員との面接やミーティングなどでコミュニケーションを図るよう心掛けている。また意見や提案を言いやすい雰囲気づくりを心掛けている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			入居者の状況の変化に応じて、常時、必要な時間帯に職員を確保できる勤務体制をとっている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			開設以来離職者は少ない、職員異動においてもホーム内での異動で、離職者の補充においても法人内のベテラン職員にお願いして入居者のダメージを防ぐよう努めている。	※	入居者へのダメージに配慮をしながらも、業務におけるの停滞感、マンネリ化防止の為人事異動は新採用を含め考えている。、
			(外部評価)		
			職員は、ユニット間で移動はあるが、日頃から両ユニットの利用者、職員は交流する機会があり、顔見知りとなっている。職員の離職時には、法人施設から介護経験が豊富な職員が移動してこられている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			法人内外の研修等においては、参加の機会をつくっている。資格取得の条件が整った職員に対しては取得できるよう支援をしている。	※	今後も研修参加の機会を多く持ち職員の質の向上につなげたい。
			(外部評価)		
			職員が外部研修を受講された際には、他の職員に内容を報告されている。事務所前に1ヶ月の目標を掲げ、利用者個々の支援について、常に職員で話し合いながらチームでケアできるよう取り組まれている。		今後、法人内の症例発表会時、腰部圧迫骨折の利用者が治癒するまでの取り組みについて発表する予定となっていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他のグループホームとの相互評価への参加や職員の研修の受け入れも実施しておりお互いの質の向上につなげている。		
			(外部評価)		
		地域の他のグループホームの職員研修を受け入れておられる。	※	今後、事業所では、他の事業所に出向き、交流を図れるような機会を作っていきたいと考えておられる。	
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員の親睦会、職員会議等を通じて悩みを聞いている。相談役として、正副ホーム長、法人本部長が担当している。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			向上心を持って働けるよう人事評価制度もある。また、資格取得に向けた支援もされている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前に面談などで情報を得たり、傾聴する事を大切にケアを行い信頼関係の構築に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			家族が困っている事、不安な事、求めている事等を、よく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)		
			相談内容の状況確認を行い本人の必要としているサービスにつながるよう対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)		
			本人が安心して暮らせる事を前提にして、常に家族と相談しながら工夫している。		
			(外部評価)		
			入居前には、ご本人、ご家族とゆっくりお話しされている。ご本人、ご家族に事業所を見学していただいたり、利用者の方達と過ごす等、ご本人が徐々に馴染めるよう取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)		
			生活の中のどのような場面でも入居者と職員が共に一緒に行っている、料理面等教えて頂く事が多い。		
			(外部評価)		
			事業所では「利用者と職員は家族である」という思いのもと、支援されている。職員は、利用者から調理の仕方や昔の習わしを教えてもらうこともある。「ありがとう」の言葉を大切に支えあいながら暮らせるよう取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人の情報や職員の思いを手紙等で知らせる事で本人を支えていくという連帯感を持てるようにしている。		
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族の来訪時には、居室に案内し湯茶でくつろぎながら時間に関係なく本人と家族の場を設けている。また、宿泊も可能。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 気軽に来訪して頂き、気軽に湯茶を飲みながら、おしゃべり等楽しい時間を過ごして頂く事を大切にして関係が途切れないよう支援に努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) みんなで楽しく過ごせる時間を多くし、気の合う者同士で過ごせる場面づくり等、孤立せずお互いに支え合えるように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院された場合は他の入居の方とお見舞いに行ったり、その後の様子を聞いたり継続的な関わりを行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			その時々の場面において本人の思いを聞いている、返事の困難な場合は「本人はどうか」という視点に立って検討している。	※	入居者一人ひとりの思いや希望が少しでも引き出せるよう、日々の中での関わりを大切にしていきたい。
			(外部評価)		
			選んだり決めたりすることがむづかしいような利用者の方にも、時間をかけて表情や行動等から思いを把握できるよう努めておられる。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境等、日々の関わりの中から聞き取り把握に努め、職員間で共有するよう努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態等の現状を記録に残し把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人がより良く暮らす為の課題とケアのあり方について、全ての職員の気付きや家族の意見を取り入れ、介護計画を作成している。	※	ご家族の思いや意向をより多く引き出せるよう、交流を多く持っていきたい。
			(外部評価)		
			お手紙やご家族の来訪時等、ケアへの希望等を聞き取り、計画に採り入れられるよう努めておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画実施期間を明示して、その期間が終了する際に見直しを行うことはもとより、状況の変化に応じ、随時行っている。	※	6ヶ月毎に見直しをしている。状況の変化した時は随時見直ししている。
			(外部評価)		
			6ヶ月ごと見直しをされている。毎月のケア会議時、ケアサービスの内容（前回の評価、今回のニーズ、ADLの変化など）について現状に合った見直しを行い、計画を作成されている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			入居者、一人ひとりの日々の様子や特徴、変化を具体的に記録し、申し送り等で職員全てが情報を共有しながら実践し、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			併設のデイサービスとの相互の支援、医療連携体制をとっており週1回看護師の訪問による健康管理を実施、緊急時においては、法人内の病院にて対応している。	※	併設のデイサービスと合同の行事（花見、月見、文化祭等）を実施したり、法人内の病院による定期受診の支援をしている。
			(外部評価)		
			法人のデイサービス等と交流する機会や利用者の誕生日に、ご本人のふるさとを訪問する機会を作っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 図書館等利用して本を借りたり、公民館活動への参加、ボランティアの協力呼びかけ等行っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じて他のサービスを利用する為の支援をしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 現在、まだ、関係を持つ機会を得ていない	※	今後、周辺情報や支援に関する情報等協力関係を築いていきたい。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 隣接している、法人内の病院で適切に受診できるよう支援している。他の病院での受診を希望される場合も受診できるよう支援している。 (外部評価) 週1回看護師の訪問もあり、いつでも隣接の法人病院に相談できるようになっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 近隣に専門医がない為、特別に受診はしていないが、かかりつけ医に相談しており診断や治療を受けている。	※	専門医に受診をお願いしたいが、近くにいない為、当面は法人内の病院の医師、及び主治医で対応して行くが、将来的には考えて行きたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 訪問看護ステーションとの契約に基づき日頃の健康管理や医療面での相談、助言を受けている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、支援に関する情報を提供しており、職員が見舞いに行き情報を得ながら早期退院に向けて連携をとっている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合について、本人を含め家族とは常に意向を聞いており、最大の支援方法を医師やスタッフで話し合いを行っている。	※	終末期については当ホームでは経験はない、但し、研修等に参加したりして、必要ある時対応できるよう、全スタッフが共通の方針を共有できるよう取り組んでいる。
			(外部評価)		
			職員は、利用者が重度化した場合や終末期の対応について、法人内で研修を行っておられる。	※	今後、ご本人の思いや家族の希望等、折に触れ聴き取り、かかりつけ医等とも相談しながら、職員全員で共有していきたいと考えておられた。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現在まだ該当者はいないが、常に本人にとって最大のケアを考えている、そのような場合に備えてスタッフ間で話し合いをしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 新しい住まいでも落ち着いた生活が継続できるよう情報を提供し、時々訪問して情報の交換をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			プライバシーが守られるよう、個人情報の取り扱いには十分注意をしている。また入居者の誇りを損ねないような言葉かけ等対応にも配慮をしている。		
			(外部評価)		
			利用者、職員同士、「～さん」と呼ぶ事を徹底されている。トイレ誘導時、ご本人のプライドを傷つけない声かけ等に配慮をされていた。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			どのような事でも選択の場面を日常生活の中で心掛けており、本人の思いを大切に日々の支援を職員が統一して行っている。		
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			入居者の希望やペースを大切にし、その人らしい暮らしを支援している。		
			(外部評価)		
			毎週、近くの図書館へ本を借りに行く利用者がおられ、本を選んだり、決めたりする場面でも職員は、ゆっくりその方のペースに合わせて支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価)		
			行事のある時や知人の来訪時等、化粧やおしゃれを楽しんで頂いており、個別にも支援している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)		
			食事の下ごしらえや、調理、片付け等共に行っており、職員と入居者が同じテーブルを囲んで食事をしている。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、利用者と職員と一緒に食事の支度や後片付けをされている様子がうかがえた。職員は、利用者にさりげなく声をかけ、全量食べられるよう支援されていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価)		
			食べたいおやつ等居室においてあり、何時でも楽しめるよう支援している。	※	好物のヨーグルトを販売店から毎日配達してもらい楽しまれている方もいる。
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価)		
			個人の排泄パターンをチェックする事でパターンを把握して、さりげなく誘導を心掛けトイレでの排泄を促している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入居者の希望の時間帯で何時でも入浴できる体制をとっている、体調や気分等タイミングをみながら支援している。	※	入浴を拒む入居者に対して、入浴に向け、言葉掛け等の工夫を常時考え対応している。
			(外部評価)		
			事業所では、朝から夕方まで、いつでも入浴できるよう準備をされている。入浴を嫌がる人には、声かけ等工夫し、入浴していただけるよう取り組まれている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の楽しい時間を多く持つ様心掛け生活リズムを整え、安眠を促している。また一人ひとりの体調に合わせて日中の休息が出来る様支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			食事の準備や洗濯等それぞれの力を活かした役割が持てるよう、またレクリエーション等も楽しめる様支援している。	※	干し大根、梅干、干し柿作り等季節の野菜、果物の加工品製造、また裁縫等、入居者に教えて頂いてる事もある。
			(外部評価)		
			植木に水やりをされている方や軍手の袖口をほどく方、それをコースターに編み直し、染色する方、雑誌を購読されている方、畑で野菜作り等、趣味や楽しみごとを個々に支援されている。又、地域の回覧板を回す当番の際には利用者と職員で回しておられる。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族の協力を得てお金を所持している入居者もいる、近くのお店にお菓子を買に行き等一人ひとりの希望がかなえられるよう支援している。	※	大好きな宝くじを買う入居者もいる。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			その日の天候や入居者の健康状態を考慮し支援している。		
			(外部評価)		
			散歩や買い物等、又、ドライブ等、季節を楽しみに外出をされている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族の協力を得て大好きな温泉や外食を楽しまれている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			入居者が希望される時は手紙のやり取りや、電話等利用出来るよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			常に訪問しやすい雰囲気を作り、訪問時には湯茶のサービスをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員全員が認識し、統一したケアを行っている。また日々の申し送り等でケアの振り返りを行い拘束のないケアを心掛けている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)		
			居室のドアには鍵はなく開放しており、玄関においては夜間時防犯の為施錠しているがその他は開放している。		
			(外部評価)		
			玄関、エレベーター、階段の扉等、鍵は掛けられていない。全ての職員は、鍵を掛けないケアの大切さを理解し、実践されている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)		
			職員は昼夜を通して入居者の様子が把握出来る空間に居る事を心掛けている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)		
			入居者の状態に合わせて、職員で話し合い把握し、必要に応じた管理の方法を行っている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)		
			ヒヤリハットの報告を基に職員間でカンファレンスを行い事故防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の協力を得て研修を受けており、実習を実施した、またマニュアルも目に届く所に置いており繰り返し学習している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回の避難訓練を実施している。地域の協力体制は、運営推進会議等を通じて協力を呼び掛けている。 (外部評価) 年2回の避難訓練を実施し、消防署の指導を受けて訓練を行っておられる。	※ ※	管理者は、朝礼、申し送り時等あらゆる機会を通じて、地震、津波時の避難方法を話し伝えている。マニュアルも作成している。 非常口にあるはしごを使った訓練の実施や災害時には、建物内の空きスペースを近隣の方に使っていただくこと等も考えておられた。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) その都度、家族との説明の中で話し合いを行っている。本人本位で抑圧感のない暮らしを大切にするケアを心掛けている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックや排泄等に注意して、異変が見られた場合は、きちんと記録に残し情報を共有し対応に結び付けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員は薬の目的や副作用、用法、用量等を把握しており毎食の前後に一人ひとり手渡し確認しながら服薬して頂き、その後の症状を観察している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘予防に向けて食事、おやつ等のメニューの工夫をしており、散歩等身体を動かす機会を多くし自然排便を促す様にしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、歯磨き、義歯の洗浄、うがいを行い口腔内の清潔を保持し、また週1回義歯の消毒を行い汚れや、臭いが生じないように努めている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が献立作成を行っており日々、味付けや栄養面の指導を受けている。また摂取量も記録に残し職員が情報を共有している。		
			(外部評価) 法人の栄養士の方に献立をたててもらい、事業所で食事作りをされている。食事の際の汁物、お茶、食後の飲み物、おやつ等で必要な水分を確保できるよう支援されている。居間や居室等で、いつでもお茶を飲むことができるよう用意をされていた。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルも作成しており、勉強会や研修等で知識をたかめ日々予防、対策に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) ふきんやまな板等毎日消毒を行い、台所、調理用具の衛生管理には十分注意している。また食材の安全管理にも努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入り口に手作りの案内板を掲示し、分かりやすく、入りやすい様工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居者が昔使用していた、家具や道具等を飾りつけたり、四季折々の草花を生けたりして、生活感、季節感を実感できる空間作りを心掛けている。 (外部評価) エレベーター昇降口に季節の花を飾られ、昔懐かしい民具等も飾られている。本箱に本が用意され、利用者個々が居心地良く過ごせるよう工夫をされていた。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ベランダにベンチを置いたり、廊下にソファを置いたりして、入居者が思い思いに過ごせるよう、居場所作りに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			居室に馴染みの家具、調度品を持ち込み、本人が落ち着いて居心地よく過ごせるよう努めている。	※	配偶者の位牌やテレビを持ち込んでいる入居者がいる反面、馴染みの家具、品が少ない入居者もいる。家族と相談して考えて行きたい。
			(外部評価)		
			部屋に記念写真を飾られたり、使い慣れたタンスや好きな服をたくさんかけておられる方もうかがえた。ご親族のお位牌に毎朝手を合わせられる方もおられる。		
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気、温度調節をこまめに行っている。	※	臭い対策として、時にアロマ等の使用をしている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			一人ひとりの身体の機能の状態に合わせて危険の防止を工夫している。	※	トイレ等の必要な箇所に手作りの手摺りや、入居者の立ち上がり時に身体を支える、支え棒等の設置をした。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			居室に見えやすい色の飾りの造花等の目印を分かりやすいよう工夫している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダに草花を植えたりメダカの飼育、玄関の花壇の手入れ等入居者が楽しんだり活動出来る様活かしている。	※	少し離れているが、4月より畑を借り、作物の手入れや収穫をしている。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の方の中には、職員の思いと感じかたの食い違いがある方もいると思う。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	生活全体がゆったり過ごしていると思う、食後、作業の後等ゆっくりとお茶を楽しむ時間を持っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常の暮らしを職員の都合で進めて行くのではなく利用者自由に自分のペースで暮らせるよう支えている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	調理や掃除、畑仕事やゲーム等で笑ったり怒ったりと様々な表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	なるべく希望に沿うようにしているが、全ての希望には添えてない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的な病院受診と、医療連携によって看護師により健康管理に努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の言葉には否定する事なく柔軟な対応により、安心した生活を送られている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	意見、希望を職員に気軽に伝えたり、相談したり出来るように面会時の声かけ、定期的な連絡等を行っており信頼関係は出来ていると思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族、知人、近所の方等の来訪がある。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地区の行事、回覧板等、参加出来るようになるなどすこしづつ理解もふかまりつつある。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	親睦会や、職員同士で話し合い悩みや、ストレスを解消し、日々和を大切に楽しく仕事が出来ている。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日の様に笑い声が聞かれ、利用者同士協力し合い支え合って暮らしているが、職員の思いと受けとめ方もあり難しい面もある。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者の家族は、満足していますと言って頂くが、まだまだ遠慮が見られる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・市より、認知症介護教室、IADL訓練事業の委託を受け実施している。介護教室は認知症を理解して頂けるよう各地区に出向き実施している。
- ・入居者の訴えをゆったりと傾聴する事を介護の基本としており職員のケアの統一をいつも図っている。
- ・併設のデイサービスと常時交流し、年数回、花見、月見、文化祭、餅つき等合同の行事も実施している。
- ・法人内の病院が道を挟んである為、何時でも急病等、救急時の対応ができ、入居者、家族の安心を得ている。
- ・ホーム内の装飾品や設備、その他食品等(漬物や梅干等保存食、菓子類)常に手作りを心掛けている。
- ・入居者に対しての言葉使等は、敬語を使う事を心掛けている。